

# 学修時間および授業満足度 の実態把握に関する報告書

2020年度 清泉女学院大学看護学部

教務委員会

20200916

# 目的

- 清泉女学院大学看護学部の授業科目における学修時間および授業満足度の実態を把握する。
- 本学の教学マネジメント体制における，教育課程の編成に関する全学的な方針の検討への基礎データとして活用する。

# 調査概要

- 調査時期：2020年8月
- 調査対象：
  - ・ 清泉女学院大学看護学部大学生を対象とした。
  - ・ 分析対象としたのは、2020年度春学期に開講した科目のうち37科目。内訳は以下のとおりである。

表1 分析対象科目

		講義	実習	演習	計
1年	共通教育	9	1	3	13
	専門	6	0	0	6
	基礎	5	0	0	
	基盤	0	0	0	
	総合	1	0	0	
2年	専門	10	1	7	18
	基礎	5	0	0	
	基盤	1	1	3	
	実践	1	0	2	
	総合	2	0	2	
	教職	1	0	0	

# 調査概要

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業改善アンケート」における項目として学修時間を調査した。アンケートは無記名アンケート方式で行った。
- 調査項目：(学修時間と学習行動について)
- Q2 毎回平均してどのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？
  - 1:0時間
  - 2:30分程度
  - 3:1時間程度
  - 4:1時間半程度
  - 5:2時間以上
- 各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1を「0分」、2を「30分」と学修時間の推計量として用いた。

# 学修時間の記述統計（全体）

- 学部全体における学修時間の平均値は1年生2.86、2年生2.88であった。
- 学修時間は1年生においては、実習、講義、演習の順であり、2年生は実習、演習、講義の順であった。
- 最も学修時間が長かったのは、2年生の実習で3.79であり、1時間を超える学修を行っていた。

表2 看護学部全体の平均学習時間

学年	講義			演習			実習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	2.83	1.077	15	2.74	0.997	3	3.52	1.242	1	2.86	1.088	19
2年	2.61	0.93	10	3.04	1.093	7	3.79	1.260	1	2.88	1.072	18

1:0時間、2:30分程度、3:1時間程度、4:1時間半程度、5:2時間以上

# 学修時間の記述統計 (共通教育と専門科目)

- 共通教育科目における学修時間の平均値は2.87、専門教育科目の学修時間の平均値は2.84 であり、学修時間は共通教育科目と専門教育科目でほぼ差がなかった。

表3 共通教育科目と専門科目の学修時間

1年	共通教育科目			専門教育科目		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数
	2.87	1.133	13	2.84	1.025	6

1:0時間、2:30分程度、3:1時間程度、4:1時間半程度、5:2時間以上

# 学修時間の記述統計 (昨年度との比較)

- 昨年度の1年次春学期との学習時間の比較をすると、遠隔授業で学修した今年度の1年次生の方が共通教育科目、専門教育科目共に学習時間が長くなっている。

表4 学修時間の比較(昨年度1年生)

	共通教育科目			専門教育科目		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数
2019年 1年	2.25	1.119	14	2.15	0.810	6
2020年 1年	2.87	1.133	13	2.84	1.025	6

1:0時間、2:30分程度、3:1時間程度、4:1時間半程度、5:2時間以上

# 学修時間の記述統計 (昨年度との比較)

- 昨年度の1年次春学期との学修時間の比較をすると、遠隔授業で学修した今年度の1年次生の方が講義、演習、実習のすべてにおいて学修時間が長くなっている。

表5 学修時間の比較(昨年度との比較)

年度	講義			演習			実習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
2019年1年生	2.22	0.987	16	1.91	0.893	3	2.69	1.345	1	2.21	0.996	20
2020年1年生	2.83	1.077	15	2.74	0.997	3	3.52	1.242	1	2.86	1.088	19

1:0時間、2:30分程度、3:1時間程度、4:1時間半程度、5:2時間以上



# 予習・復習の実施状況

- 授業形態ごとに予習・復習のどちらに重点をおいたかをきいた結果を示した。
- 全体的に復習に重点を置いていたが、2年生の実習では、予習・復習の両方に重点を置いたとする割合が60%を超えた。

表6 看護学部全体の予復習の状況

		両方	予習	復習	どちらもあまりやらなかった	まったくやらなかった
1年	講義	17.9%	7.0%	63.0%	9.8%	2.4%
	演習	11.1%	1.1%	76.7%	9.0%	2.1%
	実習	46.0%	4.8%	46.0%	3.2%	0.0%
2年	講義	10.2%	6.7%	75.4%	6.1%	1.5%
	演習	28.4%	5.6%	60.5%	5.6%	0.0%
	実習	61.9%	4.8%	28.6%	2.4%	2.4%

# 授業満足度の記述統計（全体）

- 春学期の授業満足度は、1年生4.69、2年生4.62で全体的に高い傾向であった。
- 最も満足度が高かったのは、1・2年生共に実習であり、4.86と非常に高い満足度を示した。

表7 看護学部全体の授業満足度

学年	講義			演習			実習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	4.66	0.597	15	4.72	0.473	3	4.86	0.435	1	4.69	0.564	19
2年	4.57	0.685	10	4.65	0.562	7	4.86	0.472	1	4.62	0.623	18

# 授業満足度の記述統計 (共通教育と専門科目)

- 共通教育科目の授業満足度は4.68、専門教育科目4.71で全体的に高い傾向であった。
- 昨年の1年生と比較しても、満足度が高い値を示した。遠隔授業であったが、授業満足度は高かった。

表8 共通教育科目と専門科目の授業満足度

年度	共通教育科目			専門教育科目		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数
2019年1年	4.55	0.702	14	4.43	0.822	6
2020年1年	4.68	0.607	13	4.71	0.499	6

# 授業満足度の記述統計 (昨年度との比較)

- 昨年度の1年次春学期との授業満足度を比較をすると、遠隔授業で学修した今年度の1年次生の方が講義、演習、実習のすべてにおいて満足度が高くなっている。
- 特に看護プロフェッショナル I は実際に実習した昨年よりも、遠隔で実施した今年度の授業満足度の方が満足度が高い結果だった。

表9 授業満足度の比較(昨年度との比較)

年度	講義			演習			実習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
2019年1年	4.49	0.766	16	4.44	0.710	3	4.61	0.774	1	4.49	0.759	20
2020年1年	4.66	0.597	15	4.72	0.473	3	4.86	0.435	1	4.69	0.564	19

# まとめ

- 2020年度春学期は、学修時間の平均値が1年生2.86、2年生2.88 と全体的に長くなっていた。
- 昨年度の1年生春学期と今年度を比較をすると、遠隔授業で学修した今年度の1年生の方が共通教育科目、専門教育科目共に学修時間が長くなっている。
- 1年生では、共通教育科目と専門教育科目の学修時間に差がないことから、遠隔授業による学修形態の違いが学修時間に反映されていると考えられる。
- 授業満足度は1・2年生共に高く、昨年度の春学期と比較しても高くなっていた。特に実習については、1・2年生共に4.8を超え、非常に高い満足度を示した。

# 今後の課題

- 遠隔授業を実施した春学期は、全体的に学修時間が長くなっており、課題学修を多く実施したことが学修時間の長さに関係していると考えられる。対面授業では、通学時間などを考慮する必要があるが、学修時間を維持することが必要である。
- 遠隔授業では、課題が多くなり学生の負担が増すことが指摘されているが、授業満足度は高いことから、対面授業になっても遠隔授業の良さを取り入れて授業設計をしていくことが望ましい。
- 特にすべてを遠隔で実施した看護プロフェッショナル I の実習は満足度が高く、内容が評価されたものと考えられる。臨地での実習においても、高い満足度が得られるような内容を展開する必要がある。